

美東総合支所周辺の土地利用と 整備に向けた市民ワークショップ

第1回 「現状や課題などを確認し、美東総合支所周辺を目的や用途に分け配置し、必要な施設について検討しよう！」

日時 令和4年1月20日(木) 18時～20時

場所 美東保健福祉センター大ホール

美祢市建設農林部建設課

★ ワークショップの狙い ★

- ◆ 総合支所周辺がもっと便利になればいいのに…
- ◆ 総合支所、小中学校、保育園などへのアクセスがもっと容易になればいいのに…

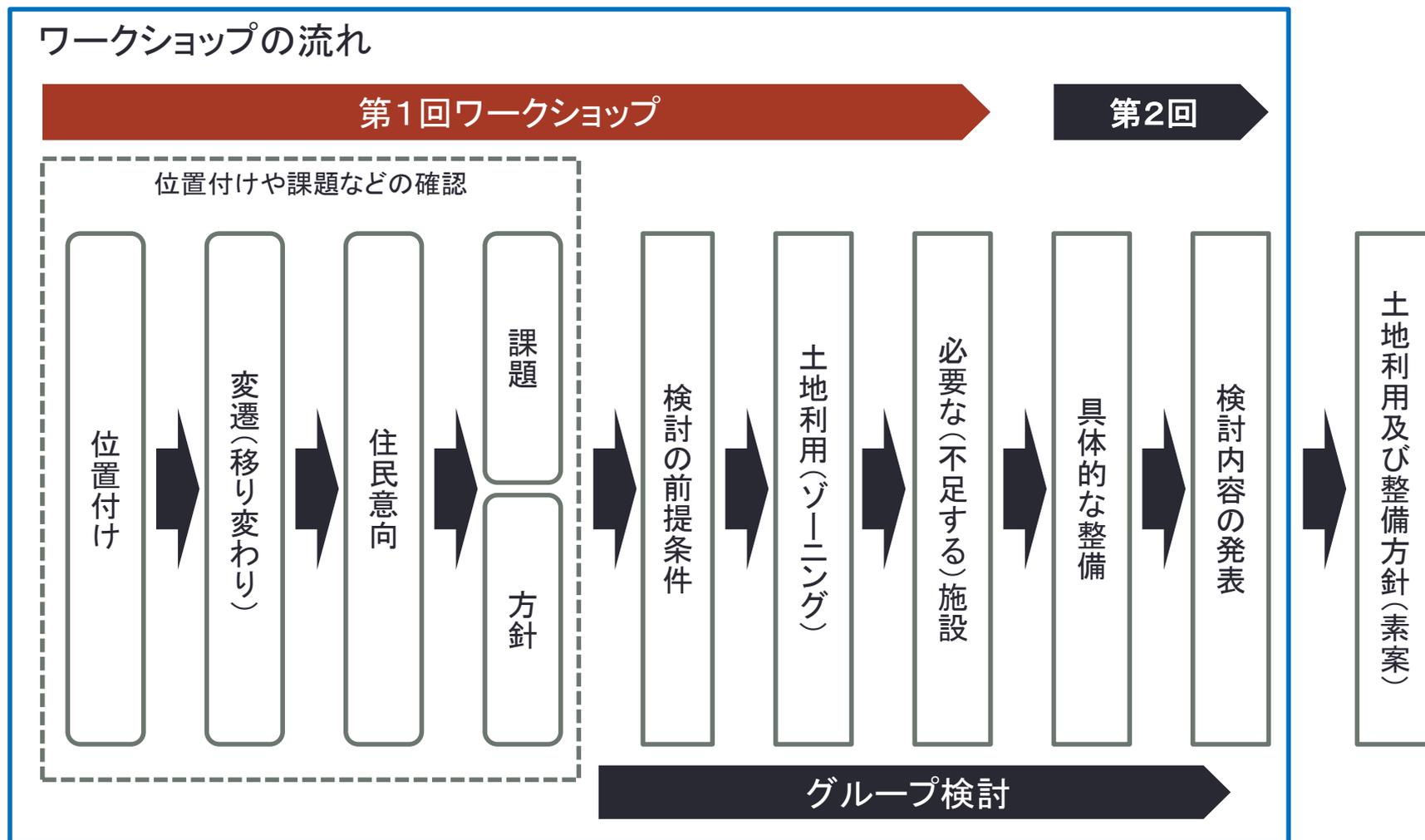
こんなことを感じたことはありませんか？

市では、「これまで」と5年、10年、20年後の「これから」を見据え、美東地域全体の日常生活と地域活動を支える拠点づくりを目的に、総合支所周辺の土地利用や整備に向けた検討を開始。



検討では、行政的な視点だけでなく、市民目線で総合支所周辺がどんなまちになったらいいか、みんなで意見やアイデアを出し合うワークショップを開催し、今後に反映！！

★ ワークショップの流れ ★



市の計画では、総合支所周辺の位置付けがどうなっているか、確認しよう！！

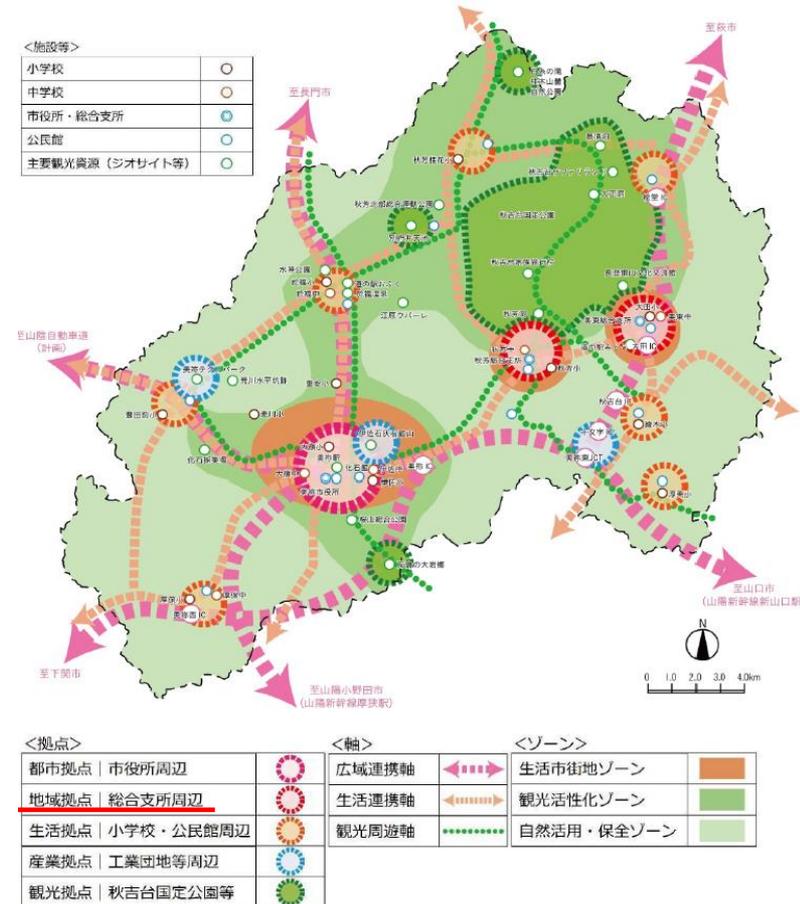
1. 位置付け

(1) 第二次美祢市総合計画

- 日常生活に不可欠な医療、福祉、商業等のサービス(施設)の確保
- 地域のコミュニティを醸成する拠点づくり

(2) 美祢市都市計画マスタープラン

- 美東地域の(集落)市街地
- 美東地域の日常生活と地域活動を支える拠点
- 既存の生活サービス機能の維持
- 道の駅みとうの各種機能の維持・充実と周辺施設や旧市街地との連携
- 自然体験の場として河川公園の保全・活用
- 防災拠点等としての機能強化



(3) 美祢市地域公共交通網形成計画 改訂版

- 大田中央バス停は、バス・タクシーなどの主要な公共交通結節点

(4) 美祢市都市・地域拠点活性化計画

- 大田中央バス停を起点に、人の流れや交流を生み出す
- 市民の日常生活を安心・便利なものとするため、次の施設を維持・誘導

都市機能	維持・誘導する施設
行政	総合支所
福祉	総合福祉施設、地域包括支援センター(秋芳地域のサービス圏域)、高齢者福祉施設、保健センター
子育て支援	保育所、児童クラブ
商業	小売店舗等
医療	病院、救急医療病院、診療所
金融	金融機関、ATM
教育・文化	小・中学校、図書館、文化施設、公民館、生涯学習施設等
宿泊	宿泊施設



多様な都市機能が集積し、日常生活と地域活動を支える拠点としての整備が求められている。

総合支所周辺の
変遷(移り変わり)を
確認しよう！！

2. 変遷(移り変わり)

昭和期

- 昭和29年 大田町・綾木村・真長田村・赤郷村の1町3村が合併(旧美東町)
共立美東国民健康保険病院設立(現美東病院)
- 昭和30年 美東町役場完成(現美東総合支所)
(周辺には、警察署、簡易裁判所、美祢土木出張所、銀行、食糧検査所、
美祢高分校、県森連、経済連支所など立地)
- 昭和35年 美東中学校完成(赤郷中・大田中・綾木中・真長田中が合併)
- 昭和49年 美東体育館完成
- 昭和51年 大田保育所改築
- 昭和55年 美東町民センター完成(現美東センター)
- 昭和63年 勤労福祉会館完成(現美東地域福祉センター)

※昭和35年頃～ 高度経済成長などに伴い人口減少
※昭和54年頃 美東町の商店数のピーク



平成期

- 平成 3年 大田小学校全面改築完成
- 平成 6年 大田川河川公園完成
- 平成10年 道の駅みとう完成
- 平成11年 共立美東国民健康保険病院全面改築完成
- 平成12年 美東町保健福祉センター完成
(現美東保健福祉センター)
- 平成13年 道の駅みとうに「交流の館」完成
- 平成20年 1市2町が合併し「(新)美祢市」が誕生
- 平成23年 地域高規格道路「小郡萩道路」完成(平成9年起工)
- 平成27年 道の駅みとうに「大型遊具」設置



「魅力ある地域拠点づくり」始動

- 令和5～6年度 新総合支所庁舎の建設(予定)
- 令和7年度 現総合支所庁舎の解体(予定)
現美東センターの解体(予定)



約70年ぶりにまちなみが変わるチャンス！
美東地域全体の利便性を取り戻そう！

これまで行われた総合支所周辺に
関するアンケート結果等を
確認しよう！！

3. 住民意向（アンケート・ワークショップ結果）

（1）産業の振興や子育ての充実

■産業の振興のために市が力をいれるべきこと。（複数回答）

ほとんどの対象で「遊休農地の活用、後継者育成などによる第一次産業の振興」が上位にあがっています。「40歳未満」の比較的年代の若い方は「駅周辺地域などの活性化」「大型店を核とした商業地区の備」が上位にあり、商業の活性化の要望が強い傾向にあります。

それぞれの割合を比べると、「40歳未満」では「駅周辺地域などの活性化」、「市職員」では「企業や研究機関などの誘致」が比較的高くなっています。



図 第二次美祢市総合（抜粋）

（2）子育ての充実（第二次美祢市総合計画）

■子育ての充実のために市が力をいれるべきこと。（複数回答）

「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」が最も高くなっています。次いで、「一時保育（緊急時や用事の際などに一時的に預かる制度）の充実」が続いています。

分類ごとに割合を比べると、「40歳未満」では「保育所・幼稚園・子ども園の整備拡充」「子どもの遊び場の整備」が比較的高くなっています。

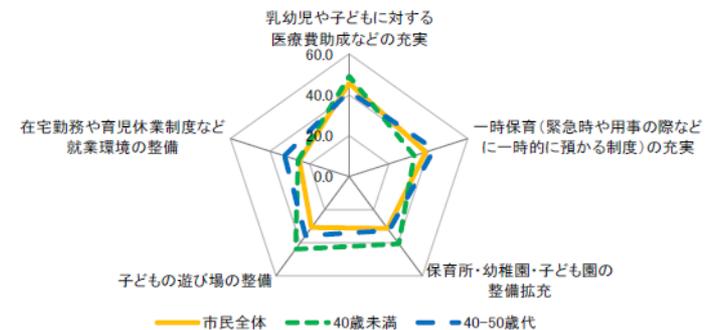
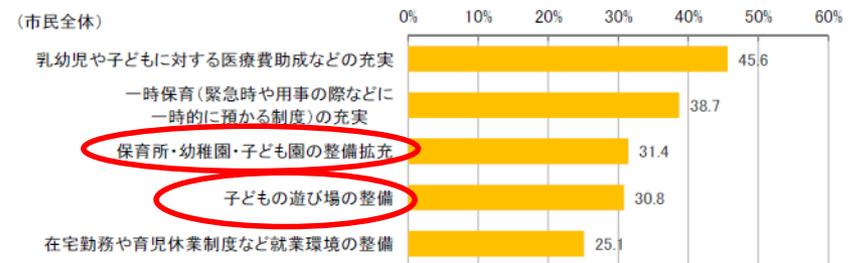


図 第二次美祢市総合（抜粋）

(3) 美東町大田地区の強み、弱み、将来必要なこと（第二次美祢市総合計画）

■これまでの主な取組（地域が行っている地区振興の取組）		
・配食	・古民家みとぅ	・農業の法人化
・リバーステージ	・子ども会の旅行	・秋吉台・山焼き
・サファリランド	・川上ほたるまつり	・大田川こいのぼり
・明治維新の本陣跡	・地区の祭事を若者へ	・子どもの遊び場ができた
・認知症カフェ・老人会サロン	・大田地区振興会・金麗社の旗	・三世代交流・運動会・もちつき等
・大田夏まつり・大田ふるさとまつり	・昔からの高倉荒神祭りが続いている	・地区行事の継続(花まつり・地藏構)
・グラウンドゴルフが盛んに行われている	・ボランティア活動(配食・河川草刈・溝掃除・地区の清掃)	

■「地区の宝」(強み・魅力)		
・斎場	・ジオ	・道の駅
・三本松	・秋吉台	・ <u>長登銅田跡</u>
・長登のシダレザクラ	・美東病院	・大田 IC
・公営住宅	・美東の日	・小児科医院
・山口に近い	・IC 高速道	・ジャズバンド
・子どもが素直	・高齢者ホーム	・ <u>金麗社・金麗文化</u>
・交通事故が少ない	・見守隊の隊員が多い	・郡役所(跡地がある)
・ <u>大田川(桜)・河川公園</u>	・地域のボランティア活動	・スクールバスの地域運用
・高見文部大臣の碑がある	・ <u>美祢市で唯一、小中が隣同士</u>	・指定文化財がかなり点在している
・店がある(サイサイ・スーパー・ドラッグストア・コンビニ等)		

■「地区の課題」(弱み・改善点)		
・財政不足	・商売・起業	・伝統がない
・少子高齢化	・空家家の増加	・転入者が少ない
・大手企業・職場	・小児科医院がない	・コミュニティ不足
・河川改修が遅れている	・大田地区としてのまとまり	・インターネットの光回線がない
・美東病院がなくなる不安がある	・特産品がない・地域性がない(特色)	・集中は農業(六次産業はできないか)
・高齢者が住みやすい新しい施設が少ない	・義務教育が済むと町外に流れ出てしまう	・交通手段(桂坂・岩波・聞波の交通手段)
・総合支所に対応できないことが多くなった	・集まるどころ・遊ぶところ(観光地)が少ない	

■地区の将来に必要なこと		
行政面	・若者の横のつながりづくり(Uターン・Iターン)→そこからなにが生まれるか	・空いている建物をいつでも使える交流スペースに
	・「 <u>関係人口</u> 」(そのまちのファン)を生み出す	・ <u>バスセンター周辺の整備</u>
住民面	・人口を増やすこと	・美東病院の診療科を増やす
	・酒造会社があった	・ <u>高齢者が集まれる場所を作りたい</u>
住民面	・鴨のスモークの利用	・町内に知らない人が多すぎる→もっと町内の人達と仲良くなりたい
	・ <u>中高生が楽しいと思えるまちづくり</u>	・孤立を防ぎたい
	・山車を活用したイベント	・この町にしかない社会資源を活かす方法で活性化に繋げる
	・転入者と地域の方がふれあう場が増えればよい	・昔のおまつりを復活させたい
		・少ない人口のまちでこそ、一丸となつてできることはないか

■地区を発展させる取組	
・支所に行けば本庁の専門家とTV 通話できる	・クラウドファンディングで祭り
・道の駅で行政サービス	・コスプレ大会
・自治会で行政の委託事業をうけおってお金を稼ぐ	

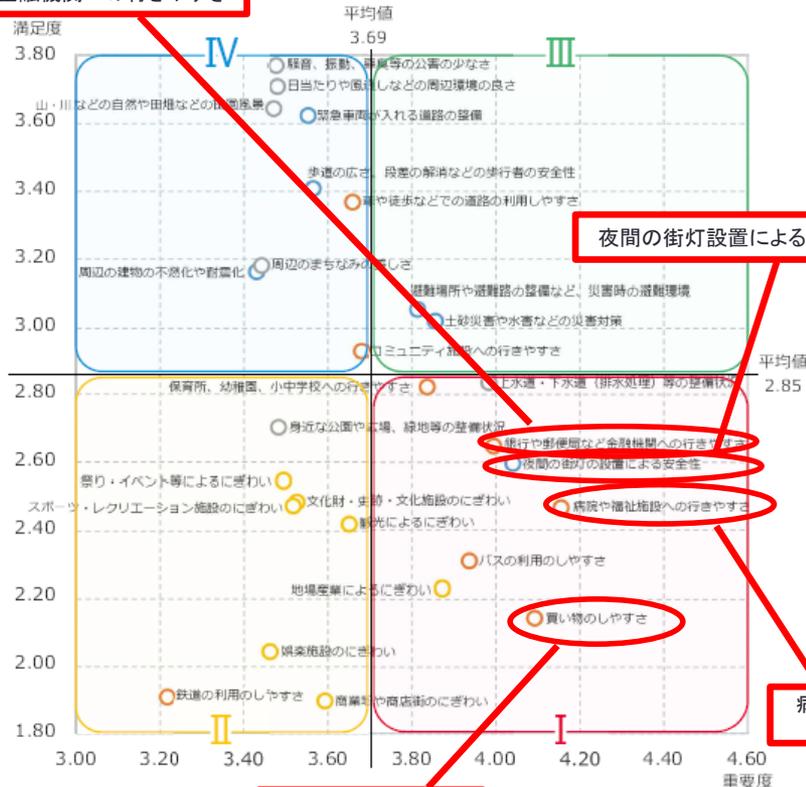
(4) 美東地域の満足度・重要度 (美祢市都市計画マスタープラン)

スーパーや商店街

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善(満足度の向上)に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低い但し重要度も低い、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

金融機関への行きやすさ



夜間の街灯設置による安全性

病院や福祉施設への行きやすさ

買い物のしやすさ

Q. 生活に必要な施設(3つまで)

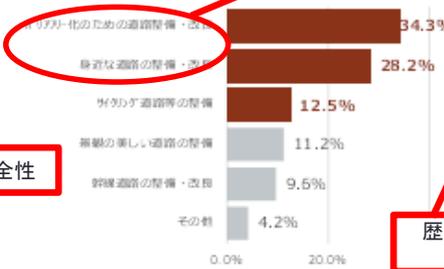


Q. バス停までの所要時間



1 身近な道路の整備・改良
2 バリアフリー化のための道路整備・改良

Q. 道路整備の優先順位(2つまで)



Q. 景観を守るために必要なもの(2つまで)



歴史的まち並みの保全と活用

Q. 災害対策の優先順位(2つまで)



Q. 今後の重要なまちづくり(3つまで)

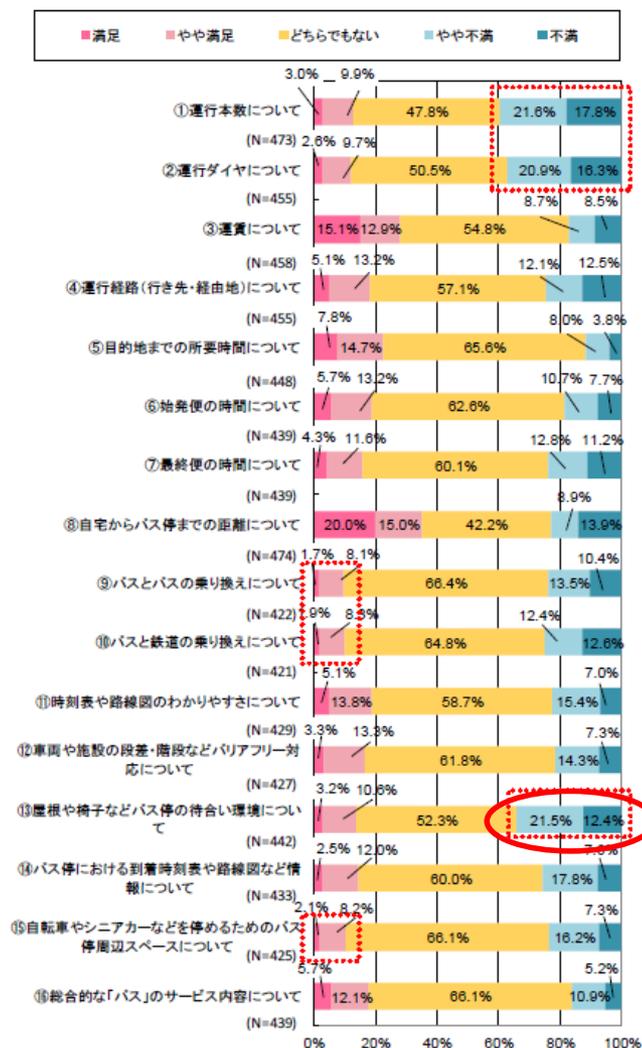


1 保健・医療・福祉の充実したまち
2 日常生活施設の充実したまち

図 美祢市都市計画マスタープラン (抜粋)

(5) 路線バスやJR美祢線の満足度や要望等（美祢市地域公共交通網形成計画）

ア 高齢者の路線バスの満足度



屋根や椅子などバス停の待合い環境について

図 美祢市地域公共交通網形成計画（抜粋）

続いて、総合支所周辺の
課題と方針を確認しよう。

4. 課題

(1) 課題

① 都市機能の集約と整備を進めること（第二次美祢市総合計画）

- ・ 本市の広大な市域に各種機能を点在させるのではなく、都市拠点（本庁周辺）や地域拠点（各総合支所周辺）の整備を進め、本市に必要な機能の集約を図り、にぎわいの創出を図ることが求められている
- ・ 都市拠点と地域拠点をつなぎ、安全・安心で快適な生活の質の向上につなげるための基盤整備、交通・通信等のネットワークの形成が求められている

② 住み続けられる集落市街地環境づくり（美祢市都市計画マスタープラン）

- ・ 大田地区の集落市街地は、公共施設、店舗、病院等の生活サービス機能が集積しており、地域拠点として美東地域の日常生活と地域活動を支える役割を果たしており、既存の各種機能の維持・充実が求められている

③ 公共交通機関の乗継利便性の向上、待合環境の改善

(美祢市地域公共交通網形成計画 改訂版)

- ・ アンケート調査では、乗継で重要視する点として、「乗継便の情報を提示した時刻表などを用意する」が第1位、「乗継拠点の周辺で待ち時間を有効活用できる施設を誘致する」が第2位となっており、**待合環境の改善**などが求められている

④ 子育て支援策 (美祢市子ども・子育て支援事業計画)

- ・ アンケート調査では、「充実して欲しい子育て支援策」として、就学前、小学生ともに「**子連れでも出かけやすく楽しめる場所**」が第1位となっており、**安全が確保できる公園などの整備**(維持管理含む)・充実が求められている

5. まちづくりの方針

(1) まちづくりの方針

美祢市都市計画マスタープランでは、市全体の将来都市像や分野別・地域別のまちづくり方針が示されており、美東地域のまちづくり方針(取組を含む。)は、以下のとおりとなっている。

まちづくり方針 「地域の歴史や文化、癒しを育むまちづくり」

- 取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり
- 取組② 豊かな自然環境や田園景観を大切にしたまちづくり
- 取組③ 交通アクセス性の高さを活かしたまちづくり
- 取組④ 歴史・文化・自然資源を活かしたまちづくり
- 取組⑤ 協働による防災まちづくり

今回ワークショップでは

行政的な視点だけではなく、市民のみなさまとともに、どんな施設がどこにあったらいいか？どんな整備をしたいか？を考え、ともに美東地域全体の日常生活と地域活動を支える拠点づくりを図りたいと思います。

限られた資源や財源を有効的に利用するために、みなさまのご意見をお聞かせください。



ここからは、総合支所周辺が
将来どんな街になったらいいか、
みんなで話し合おう！！

その前に、
検討の前提条件について
確認しよう！！

6. 検討の前提条件

(1) 検討する区域

検討する区域は、公共交通結節点である大田中央バス停を中心に半径800m圏(一般的な徒歩圏)内の黄色で塗られた区域とします。黄色以外の区域は、農用地区域、地域森林計画対象民有地、秋吉台国定公園区域特別地域に指定されており、農業や森林等を振興する区域とされています。

(2) 検討する内容

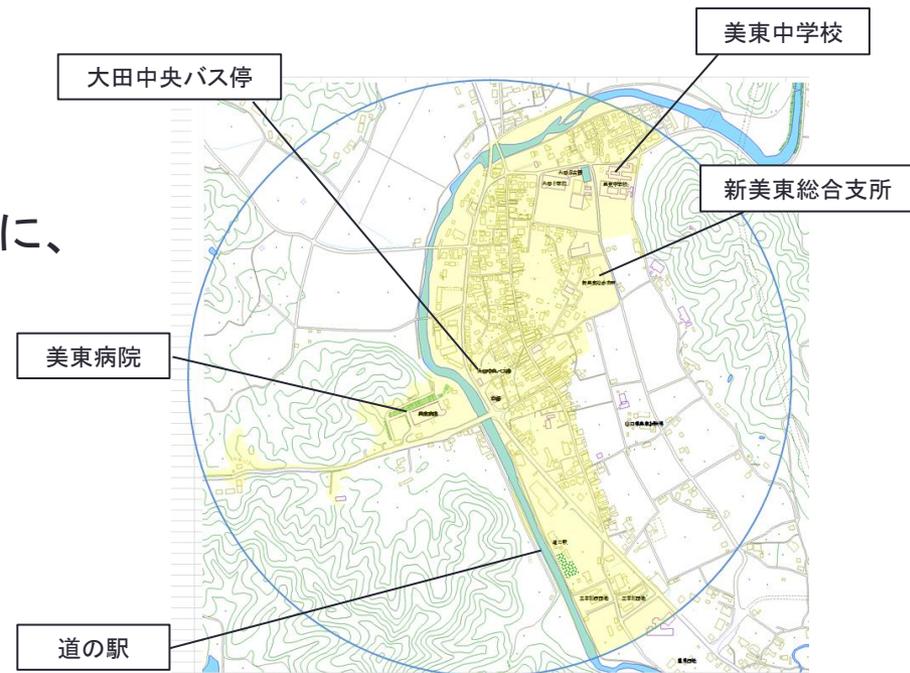
区域内の資源を活用することを前提に、以下の内容について検討します。

【第1回ワークショップ】

- ① 土地利用(ゾーニング)の検討
- ② 必要な(不足する)施設の検討

【第2回ワークショップ】

- ① 具体的な整備の検討



それでは、土地利用
(ゾーニング)について
グループで話し合おう！！



まずはじめに、グループで自己紹介をしていただきます。

続いて、進行役と発表者(2回目のワークショップ)を決めてください。

7. 土地利用(ゾーニング)の検討

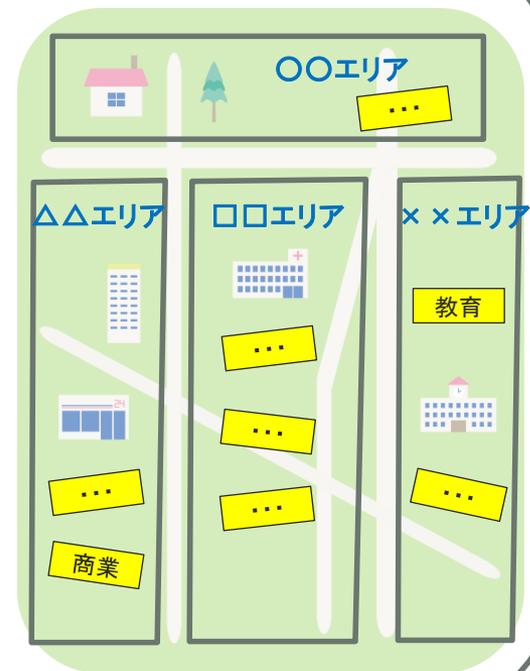
(1) 土地利用(ゾーニング)

土地の有効活用や市街地整備をはじめ、それぞれの場所の魅力を高めることで区域全体が便利で魅力あるまちとなり、今後(将来)の市街地づくりの基本にすることを目的に、区域内を目的や用途などに分け配置します(ゾーニング)。 ※これまでの**住民意向**や**課題**も**参考**としてください。

(作業手順)

- 各自で、これまでの内容(参考資料を含む)を踏まえ、地図を見渡し、「**5年、10年、20年後**、この辺りは〇〇な場所になってほしい」と思う、〇〇を付箋に記入し地図に貼付けます。
※〇〇は、名詞、形容詞、抽象的表現などその場所をイメージさせる内容を記述します。(付箋の色…黄色)
- グループで、付箋の内容を確認し、内容が共通するエリアをマジックで囲みます。この時、道路以外、マジックで囲まれていない場所がないようにしてください。
また、動線(人・車などの流れ)を地図に書き込むと適切な配置かどうか確認し易いです。
※時間に余裕があれば、エリアの名前をマジックで地図へ記入します。

(例)



次に、必要な
(不足する)施設について
グループで話し合おう！！

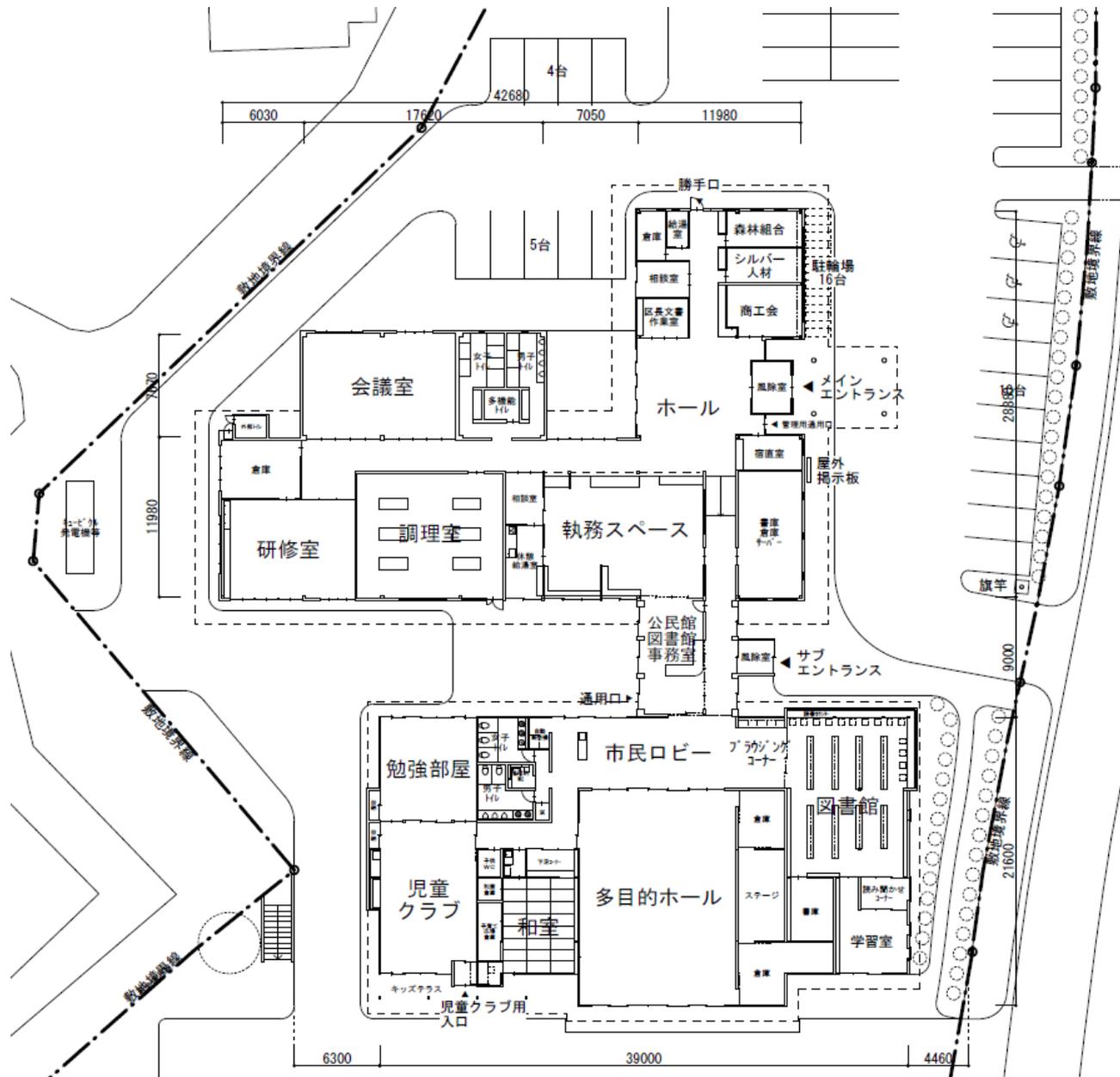
8. 必要な(不足する)施設の検討

(1) 必要な(不足する)施設

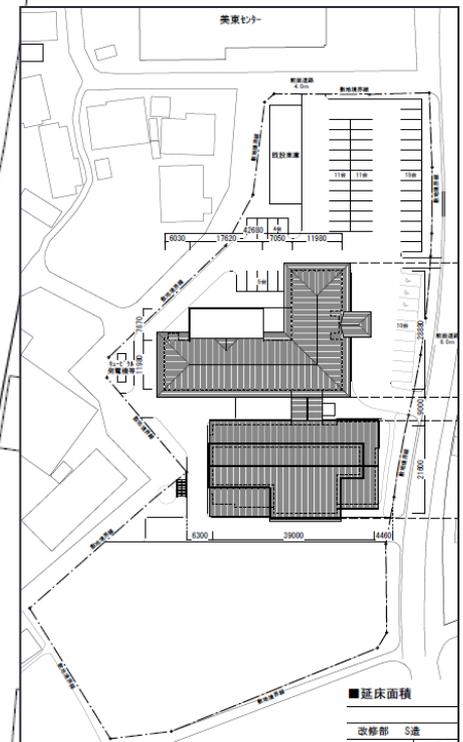
7. 土地利用(ゾーニング)で検討したエリアの実現を目的に、各エリアに必要な(不足する)施設について検討します。

(作業手順)

- 1 各自で各エリアに必要、もしくは不足すると思われる、市の施設、店舗、公園、トイレ、駐車場などの施設を付箋に記入し、地図に貼付けます。この時、区域内に既にある施設を貼付けても構いません。
※ 新総合支所内で設置予定の機能(公民館、図書館など)も参考にしてください。(詳細は次頁参照)
(付箋の色…赤色)
- 2 グループで、エリア毎に貼り付けられた施設について意見を出し合い、整理します。



新総合支所整備基本設計書（配置図）



新総合支所整備基本設計書（敷地周辺図）

以上で、本日の内容を
終了しますが、

次回は、具体的な整備に
ついて検討します。

皆さまにはお手間をとらせませんが、次回ワークショップまでに本日検討した内容に基づき、各自で「区域内の具体的な整備案(資料2の7頁の別表)」について考えてきてもらいます。この時、まちをどのように使うのか(まちの使い方(次頁参照))想像していただくと、より具体的かつ多くの整備案を提案することができます。

そして、次回のワークショップでは、はじめに各自が考えてきた整備案を発表し合い、その後検討に移っていただきます。



(まちの使い方 例1)

水曜日に休みが取れたので、朝早く、妻と2人で道の駅に車を駐車し、大田川河川公園沿いを歩いた。少し暑くなってきたので、道の駅でソフトクリームを購入し、河川公園沿いの木陰で川のせせらぎを聞きながらソフトクリームをほおぼった。

お昼になったので、近くの定食屋でランチをし、その後、新総合支所で開催中の美東歴史展を鑑賞した。

夕方、妻が予約していた病院で受診後、スーパーに立ち寄り、明日の夕食用の食材を購入し、帰宅した。

(まちの使い方 例2)

休日のお昼、家族でバスを利用し大田中央バス停に下車。子ども達が本を読みたいと言うので、新総合支所内の図書館へ行き、読書をした。新総合支所敷地内で開催中のフリーマーケットで子ども用のスカートを購入し、散歩がてら金麗社に向かった。道中、のどが渴いたので、近くの店でスムージーを購入した。金麗社でお参りをした後、バスの発車時刻が近づいたためバス停へ急いだ。

検討の流れは、

各自が考えてきた整備案を発表し合い、みんなで意見を交わした後、グループとして整備内容を取りまとめる



グループでまとめた意見を発表



ご協力よろしく申し上げます。

なお、せっかくの機会ですので、

お帰りの際は、他の班の検討結果を見てお帰りください。(ご不明な点等あれば、担当職員にお尋ねください)。

本日は、大変お疲れ様でした。
次回ワークショップ(3/17(木))も
どうぞよろしくお願いします。

美祢市建設農林部・建設課